

東奥日報

2023年(令和5年)2月27日(月曜日) (15)

SDGs 発展呼びかけ

八工大と島守地区 3年間の研究成果報告



実践プロジェクトの取り組みに理解を深めた報告会

八
戸

八戸工業大学と八戸市南郷島守地区が2020年夏から進めている「しまもりSDGs(持続可能な開発目標)実践プロジェクト」の報告会が21日、八工大で開かれた。関係者約30人が出席し、プロジェクトに参

画する教員7人が専門性を生かし地域と連携して取り組んでいる3年間の研究成果を説明。プロジェクトリーダーの星野保教授が「シリーズ(種)である成果を広げるため、行政や地域、企業と一緒に発展させていこう」と呼びかけた。「しまもり持続可能な水

道システムの創造」をテーマに研究している鈴木拓也教授は、高齢者向けの応急給水として、住宅内に水道タンクを設置するシステムの構築などについて説明。田中義幸教授は「しまもりの生物多様性をモニターしよう!」と掲げて進めている研究について報告した。

島守地区の活性化に取り組む市民団体「ふるさとルネッサンス」の上野大輔代表は「地域資源の価値を学術的に認めていただくことは、地元にとってアイデンティティーになり、コミュニティの活性化につながる。このような活動をしていただきありがたい」と語った。金子賢治学長補佐は講評で「通常の研究とは違う意味での、広がりのある成果が生まれた」と述べた。(岡田圭逸)

※ 「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」